



桃五だより



No.620

(2月号)

2023.2.1

杉並区立桃井第五小学校

<https://www.suginami-school.ed.jp/momo5shoubg/>

出欠確認は子供の命を守ること

副校長 橋本 潮

保護者の皆様には、お子様が欠席や遅刻をする際には、主にメールでご連絡をいただいております。また、メール以外に、電話や連絡帳といった手段で連絡をいただくこともあります。どのような手段であっても、朝、始業前に確実に連絡をいただくことで、担任としては、安心してその日の授業を開始することができます。“安心して”というのは、教室に児童がいない状態であっても、確実にその児童の安全が保障されていることが、確認できるからです。

もし、子供が教室にいないにもかかわらず、保護者から何の連絡もなかった場合、担任は、その児童が、ひょっとして登校中に事故にあっってしまったのか、校内のどこかで怪我をしているのか、気持ちが落ち着かなくて教室に入れないのか等、様々なことを考えます。そして、必ず保護者に電話をして、まだ登校していない旨を伝えます。ここで、保護者と連絡が取れて、その日は欠席であることが確認できればいいのですが、時には、保護者と連絡がつかずに、児童が不在の理由が分からないことがあります。その場合、担任や空き教員、教員以外の学校職員等、学校ができる限りの手段を使って、児童の安否を確認しなければなりません。時には、止むを得ず1時間目の授業を自習にして、対応しなければいけないこともあります。欠席連絡とは、それくらい学校に大きな影響を与えるものです。

昨年、静岡県のごども園で、園児を通園バスの中に置き去りにしてしまい、熱中症により死亡させてしまうという事故がありました。大阪府や福岡県でも、同様の事故が起こっています。これらの事故では、教室に子供がいないにもかかわらず、担任が保護者に連絡をしていませんでした。もし担任が、一本電話を入れていれば、幼い子供の命を救うことができたのではないかと思います。となると、本当に悔やまれてなりません。

一方で、なぜ担任が連絡をしなかったのか、その背景を考える必要もあります。前述したとおり、本校では、児童が登校していないにもかかわらず、欠席連絡がないことがあると、教員は対応に追われます。単純に失念しているケース以外にも、毎回遅れて連絡がくるケース、遅刻の連絡がありながら時間になっても来ないケース、保護者が先に家を出ており子供が登校していないことを保護者も知らないケース等、いろいろなケースがあります。出欠確認は、実はそんなに単純なものではありません。事故のあった園が相次いだということは、昨今、連絡のない欠席が増えており、対応に追われる職員が、その煩雑さから、つい連絡を怠ってしまったと考えることもできます。

本校では、児童の出欠確認は、子供の命にかかわることだとして、徹底しています。保護者の皆様にも、欠席連絡は“うちの子は安全です”というメッセージを届けるものとして、確実に連絡をくださいますよう、お願いいたします。

2月の生活指導目標

正しい言葉づかいをしよう

人にかけてもらってうれしい言葉には何があるでしょう。「すごいね」「ありがとう」「よくがんばったね」「この調子」など、子供でも大人でも前向きなあたたかい言葉は、人からもらえば心がほかほかします。学校では、日頃からこのような言葉を子供たちがかけ合えるクラスづくりをすすめています。ぜひ、ご家庭でもあたたかい言葉を、家族同士で広げてほしいと思います。